

別紙1 第2次小金井市芸術文化振興計画の進捗状況

基本理念：みんなで誰もが芸術文化をたのしめるまち 期間：2021年4月～2026年3月

	やってきたこと	3つの大事な視点			基本施策			成果	芸文の視点から見た課題	今後の展開
		協働	教育	社会包摂	1 芸術文化の拠点と交流の機会を提供	2 市民が参加する新たな機会をつくる	3 多くの人が参加できる実践の場をつくる			
市民交流センター	ギャラリーコンサート（はけ美と協働）	○			○	○		・他の機関、市内の文化資源との連携ができた。 ・新しい分野の活動に挑戦した ・担い手の育成に注力した	・まだホールに来たことのない人がホールに来るきっかけを増やす ・市民と一緒に作る企画を充実させる ・多様なジャンルの芸術を提供	
	自主事業（公演、ワークショップ等）	○	○	○	○	○	○			
	インリーチ、アウトリーチ事業（市内の保育園、学校、介護施設等）		○	○	○	○				
	館学連携事業（テクノスカレッジ、学芸大学）	○	○	○	○	○	○			
	市内団体等との共催、共同開催事業（木工チャレンジ、キッズカーニバル等）	○	○	○	○	○	○			
	市内アーティストとの連携（こがねいガラ・コンサート等）	○				○	○			
	担い手育成（こがねいジュニア特派員、こがねいガラ・コンサートインターン等）		○							
はけの森美術館	所蔵品展、企画展の開催				○	○		・前例がない展示等新しい試みを行った。 ・市内小学校との連携を行った ・他の機関、市内の文化資源との連携ができた。	・来館者が少ない ・知名度が低い ・教育、社会包摂 ・地域とのつながり ・体制が脆弱	・広報 ・体制強化
	ギャラリーコンサート（交流センターと協働）	○			○	○				
	鑑賞教室（市内小学校）		○		○	○				
	ワークショップ	○				○	○			
	市内団体等との連携（ワークショップ講師等）	○	○				○			
アクティオン	はけの森美術館との協働事業（ダンス保育園）	○				○	○	・幅広い年齢層、参加が難しい層に対してアプローチすることができた。 ・市民の自発的な行動を促すことができた	・事業の知名度が低い ・参加者が少ない ・学校との連携 ・同じ人ばかり参加している ・主催側の人員が少ない ・費用面	・広報 ・実行委員を広く募集 ・限られた予算の中で取捨選択していく
	0.1歳の子どもと親へ向けた事業			○		○				
	えいちゃんクラブ			○		○				
	タズネル	○	○			○	○			
	ユニバーサルアートフェス（交流センターと共催）	○	○	○	○	○	○			
市	市内文化団体、事業への補助事業（市民文化祭、薪能等）	○						・計画の周知、普及啓発ができた。 ・幅広い年齢層、外国の方にも参加してもらうことができた。	・補助金の在り方	
	芸術文化振興計画推進フォーラム開催				○	○				
	日本（江戸）文化体験事業		○	○		○	○			
	連携協定を活用した事業（シヴィルマリッジinはけの森美術館）				○					